

# 12月 Libraries are Fun

～五高としょかんは楽しい！～

令和4年度  
五島高校：図書委員会  
12月20日作成  
12月28日発行

こんにちは！図書委員会です。  
クリスマス～!?終わっちゃいました。遅れちゃったサンタさんですが、袋の中には、図書委員の沢山の本のプレゼントが入っています。この冬休みにじっくり読んで、過去を振り返り…、未来を想像し…、楽しんでください。

おススメは！作家の喜多川泰さん  
クリスマスは大切なあのひと・・・



図書委員  
制作担当

- 1-1
- 1-1
- 1-2
- 1-2
- 1-3
- 1-3



## 『君と会えたから・・・』 ディスカヴァー

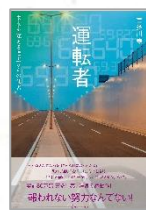
将来に対する漠とした不安を抱えながらも、自分のやるべきこともやりたいことも見つけれず何もせず、無気力に過ごしていた平凡な高校生の僕のもとに、ある夏の日、美しい女の子がやってきた。そして、彼女から、その後の僕の人生を変える教えを聞くことになる。いつしか彼女に恋心を募らせていた彼の前に次第に明らかになっていく彼女の秘密とは……  
自分の大切な人を思い浮かべながら読んでみてください。

## 『きみが来た場所』 ディスカヴァー

会社を辞め、生きる力を育てる塾を立ち上げた秀平。家族を支えながらも経営がうまくいかず、不安な毎日を過ごしていた。そんなある日、口に入れると「自分の先祖が体験してきたこと」が夢となって現れる「ルーツキャンディ」を手に入れる。秀平は祖父たちの生き様、決意、つないできた命の奇跡を知る中で、これから自分の子として生まれる新しい命と、塾の子供たちに伝えなければならない大切なことに気づいていく。  
喜多川泰さんの本の一冊目にお勧めです。

## 『運転者』 ディスカヴァー

生命保険会社の営業として日々ノルマに追われる主人公「岡田修一」は大口の契約が突然破棄され、職場での立場が非常に危ういものとなる。家庭では娘の不登校にも悩まされており、妻には自分の悩みを理解してもらえない。そんな日々の不満の蓄積が限界を迎えようとしていた。そんなとき、一台不思議なタクシーと出会い、様々な出会いを手に入れる。タクシーの「運転者」から、いろんな話を聞く中で、少しずつ自分の周りの「運」「幸せ」に気づいていく。  
今の自分があることへの感謝の気持ち、人の可能性に改めて気づいた修一はやがて人と人とのつながりの意味を考えるようになり、沢山の気づきを経て家族と向き合うようになる。  
「自分は運が悪い」と思っている人は、今までとは全く違う考え方が見つかるかもしれません。ぜひ手に取っててください。



1-2 五島高校



## 『百年文庫16 妖』

著者：坂口安吾 檀一雄 谷崎潤一郎  
出版社：ポプラ社

この作品は坂口安吾、檀一雄、谷崎潤一郎の書いた作品の短篇が一冊にまとめたもので、三作品とも歪んだ愛がそれぞれの作品で描かれています。

特に檀一雄の「光る道」は伊勢物語の『芥川』をオマージュした作品なので、一年生みなさんにはぜひ読んで欲しいです。

## 『銀河鉄道の夜』

著者：宮沢賢治 出版社：新潮文庫

この本は、孤独な少年が親友と共に列車に乗り、その中でいろいろな人と出会い、生きる意味を発見していくお話です。

親友が自分の命を犠牲にして人を助ける場面が見どころです。



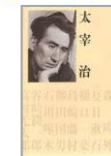
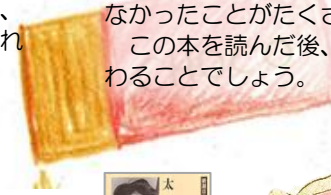
## 『マッチうりの少女』

作：H・C・アンデルセン

絵：いわさきちひろ 訳：木村由利子

出版社：偕成社

物語を知っている人も多いでしょう。この物語はクリスマスの時期のお話ですね。この物語は悲しくも感動的な少女のお話ですが、私はクリスマスの出来事と知って、もう一度読んで見ました。新しい発見があり面白いので、ぜひ一度借りてみてください。



## 『日本文学アルバム 太宰治』

著者：相馬正一 出版社：新潮社

この本は文豪たちの生涯が写真付きで描かれていて、作品の主人公と作者の境遇に共通点があり、文豪たちの性格や人間関係まで知り得なかったことがたくさんあります。

この本を読んだ後、文豪たちへの価値観が変わることでしょう。



## 恋愛小説を読んでみませんか？



クリスマスといえば、イルミネーションやツリーなどロマンチックなものが多いですね。そこで、感動恋愛小説を集めてみました。高校が舞台になっているものを選んでみたので、登場人物の心情や行動を想像しやすいと思います。中にはクリスマスに関連しているものがあるので、ぜひ手に取ってみてください。

### 『もしも明日があるのなら、君に好きだと伝えたかった。』

〈著者〉miNato 〈出版社〉スターツ出版

「事故に遭う運命だけは、絶対に変えてはいけないよ」高1の琉羽はある日事故に遭い、目が覚めると3か月前の世界に戻っていた。

事故の前に友達や家族との関係に悩んでいた琉羽は、思いかけず訪れたやり直しのチャンスに、今度こそ悔いのないように生きようともがく、そんな中、片思いしていた幼馴染の真太郎と久しぶりに話してみることに。

やり直しの3カ月はキュンキュンがとまらない物語です。でも、いつ当たり前の日常が崩れるか分からないので、一日一日を大切にしたいと感じさせてくれました。



### 『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

〈著者〉汐見夏衛 〈出版社〉スターツ出版

みなさん、「クリスマス休戦」を知っていますか？第一次世界大戦中、敵国であったイギリス、ドイツの兵士たちが一時停戦して、共にクリスマスを祝ったとされています。

今年の2月ロシア・ウクライナ戦争がはじまり、いつ終結するのか予測できない中で、世界中が思い思いのクリスマスを過ごしました。

大変な日々を暮らしている人々がいることを知ってもらうために、戦争に関する本を選んでみました。もちろん恋愛小説ですが一日一日の過ごし方、当たり前に学校に通い友達と楽しく過ごしていることがそうではないと気づかされる一冊です。

(この本の続きもあるので気になる人はチェック！)



### 『だれも知らないサンタの秘密』

作：アラン・スノウ 訳：三辺律子  
出版社：あすなる書房

みんなが知っているサンタさんは赤い服を着て、白いひげをしていますよね。どうしてそんな格好をしているの？一度は考えたことがあると思います。そんな不思議に思ったことがこの絵本で、面白くそして楽しく解明できます。童心に帰って、クリスマスまでのサンタさんが何をしていたどんな風にして当日を迎えるのかストーリーを読んでみてください。きっとワクワクするので、幸せな夢が見れますよ。

### 『永遠なんてない世界でも、明日の君に会いたい。』

〈著者〉夜野せせり 〈出版社〉スターツ出版

ある日、公園でフルートの練習をしていた高校生の双葉は、端正な顔立ちの海斗と出会う。

未熟な自分の音色を笑われ、彼の第一印象は最悪。しかし、高校の入学式で再会し、双葉は海斗が持病を持っていることを知る。しかも、それは実の母親を亡くした病と同じで…。

不安や喪失感を抱えながらも、2人は惹かれあいお互いを必要としていく。

「だから俺は、誰も好きにならないって決めたのに」

海斗の本当の想いを知ったとき、大切な人と“今”をもっと大切にしたいと思う。光のある感動物語です。

人には誰にも言えない苦しみや葛藤があり、それに寄り添うことができる人はすごいと思いました。



## あの頃を思い出して…



2-2五島高校

## Merry Christmas

まさにまたクリスマス！！  
みんなは誰と何を食べましたか？🍪

### ① 家族で食べたい！ いろんなショートケーキ

やっぱりクリスマスといえばショートケーキ!!  
この本にはショートケーキの作り方が分かりやすく載っています。

この冬休みにケーキを作って家族にふるまってみては？



お菓子の学校1 スポンジケーキ  
プロに学ぼうお菓子の基本  
エコール辻東京製菓研究室 (編)  
出版社：学研

### ② 大好きなお友達に渡したい！ カップケーキ

この本にはカワイイカップケーキの作り方が載っています。ケーキ作り初心者でも簡単に作ることができるカップケーキがいっぱい！

ぜひ冬休みの間にケーキ作りに挑戦してみてください！



カップケーキBOOK  
キュートな115のレシピ&デコレーション  
小田川 さなえ (著)  
出版社：グラフィ社



### 〈図書委員のクリスマスクイズ〜！〉

サンタクロースはどんな風に笑う？

1. はっはっは〜！
2. ひ〜ひ〜ひ〜！
3. ほ〜ほ〜ほ〜！

※答えはクラスの図書委員に聞いてみてね。



### 『よるくま クリスマスのまえのよる』

作：酒井駒子  
出版社：白泉社

ある日、一人の男の子のもとにクマがやってきて突然家の電気が消えてしまいます。男の子とクマは、これからたくさんの不思議な出来事が起こります。

私は、クマがプレゼントをもらえるかどうか？悩んでいる男の子を慰めている場面がお気に入りです。

